

白川英樹博士特別実験教室全国展開事業

導電性プラスチックを作ろう！

導電性プラスチック EL 素子への応用



2019年10月20日(日)

13:00~16:30

講師：白川英樹博士(筑波大学名誉教授)

2000年にノーベル化学賞を受賞した白川英樹博士自らが監修・講師を務める実験教室を、サイエンスワールドで開催します。

実験教室のテーマは、白川博士が研究されていた「導電性プラスチック」。身近なプラスチックとは異なり電気を通すこのプラスチックを、実際に参加者が作成し、できたプラスチックを使用してさらに応用的な実験も行います。先端的な科学について自ら観察し実験することができる機会です。ぜひご参加してください。

会場：サイエンスワールド(岐阜県先端科学技術体験センター)
2階 ラボ2 (住所:岐阜県瑞浪市明世町戸狩 54)

対象：高校生

定員：40名

参加費：無料

注意事項

・安全面とスペースの都合上、参加者本人以外の入室はできません。予めご了承ください。



講師 白川英樹 氏(筑波大学名誉教授)
主催 サイエンスワールド(岐阜県先端科学技術体験センター)
協賛 住友化学株式会社
協力 全国科学館連携協議会、日本科学未来館

導電性プラスチックを作ろう！

導電性プラスチック EL 素子への応用

白川英樹博士(筑波大学名誉教授)

「電気を通さない」という従来のプラスチックの常識を覆す、「導電性プラスチック」を発見し、この分野の発展に大きく貢献。1977年に白川博士、A. J. Heeger 博士、A. G. MacDiarmid 博士は、ポリアセチレンというプラスチックが、従来のプラスチックの性質も持ちながら、電気を通す性質を示すことを発表し、これが2000年のノーベル化学賞に繋がりました。現在では、様々な電子機器に用いられるタッチパネル、リチウムイオン電池、電解コンデンサ等、導電性プラスチックを用いた製品は日常的に使われるようになっています。この実験教室では、有機 EL テレビの基礎となる導電性プラスチック EL 素子を作ります。

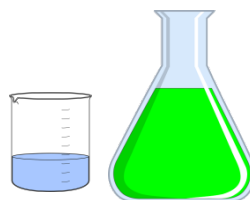


実験教室内容

導電性プラスチックの性質について講義を受けながら、実際に導電性プラスチックの薄膜を作ります。さらに光を出す性質を持っているプラスチックを組み合わせることで、導電性プラスチック EL 素子を作ります。作った EL 素子に電圧を加えることで、発光する様子を観察します。

申込方法

電話による申し込み(先着順40名)
受付開始時刻 9月7日(土)9:00~
電話 0572-66-1151(サイエンスワールド)



岐阜県先端科学技術体験センター
サイエンスワールド

住所	〒509-6133 岐阜県瑞浪市明世町戸狩 54
TEL/FAX	(0572)66-1151/(0572)66-1152
URL	https://www.sw-gifu.com
開館時間	9:00 ~ 17:00
入館料	無料
休館日	毎週月曜日および祝日の翌日 年末年始 他

